

会長 阿部信一
TEL 025-273-1572

事務局 井村健一
新潟市北区すみれ野2-10-12
TEL 025-259-7152

会報・編集委員会代表
浅野亘寛
長岡市金町2-2-17
TEL 0258-52-3998

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

平成25年度 岩登り講習会 (研修会) 報告

指導技術委員会 嶋原 哲也 (新潟山岳会)

平成25年6月16日(日)新潟市内の倉ダム杉滝岩において、岩登り講習会及び研修会が開催された。昨年度より前日の土曜日に、初心者を対象としてロープワークや懸垂下降などの基本操作の前日研修を企画しているが、今年度は2名の申し込みがあった。15日土曜日はあいにく小雨の降る中、14時から17時まで講習が行われた。

16日日曜日当日は、早朝まで残っていた雨も上がり、8時より開会式が行われ、阿部会長よりご挨拶を頂き、講師として杉滝岩の主とも紹介した。

開会式後より早速研修に移り、日山協指導委員会登攀研修会の一部内容を研修した。①確保姿勢から仮固定、支点へのテンションの移動、ロープリング、②ロープリング時におけるロープの結び目の通過方法、の2点をそれぞれに行なってもらった。ミニールノットやマリナーノットなど、普段あまり使わないロープワークはこの機会にぜひ覚えていただきたい。



9時30分からは実際に登る形で進められた。途中お昼の休憩を挟み、午後も同様に進められ、15時の閉会式で終了となった。天候にも恵まれ、参加者一同思う存分に岩の感触を楽しめたのではないかと思います。申込者(当日来加者)でありました。今年度も無事故で無事に終了することが出来、参加者の皆さんのご協力に感謝申し上げます。



無事故で無事に終了することが出来、参加者の皆さんのご協力に感謝申し上げます。


魚沼の里
www.uonuma-no-sato.co.jp

魚沼の酒

八海山
www.hakkaisan.co.jp

安全登山研修会を開催して

遭難対策委員会 井 春文



研修会風景

去る6月22日、23日、国上山周辺に於いて安全登山講習会研修会を開催した。参加者25名。昨年同様日山協より渡邊輝男氏、県警より玉木大二朗氏と田中祥司氏を講師に招きスタッフ含めて総勢35名。山岳遭難の統計によると毎年のように道迷いが原因、或はそれに起因する転滑落、疲労等の遭難が大多数を占めると報告されている。今年もテ

ー報告されている。今年もテ
マは道迷いによる遭難の防
止。1日目は国上寺南方にあ
る長寿苑旅館にて座学。渡邊
氏による地形図、コンパス。
またDVDも使用し装備品の
講義が行われ、2日目は国上
山にて地形図と実際の地形と
の比較をしながらの实地講
習。道の駅から国上寺、山
頂、稚児道を系由し道の駅に
戻る全長約6kmのコース。天
候にも恵まれ有意義な講習を
することが出来た。いつも思
うことではあるが、読図も
ロープワーク、救急法等と同
様、日頃から馴染んでいな
いと身に付くものではないと思
う。これからもこういう機会
を利用して安全に、また楽し
く登山ができるようにスキル
アップを計ってもらいたい。
また、後日6月29日、30
日、大阪にて日山協遭難対策
委員会総会研修会が行われ、

さらには7月3日には東京に
て全国山岳遭難対策協議会が
開催された。日山協研修会
のテーマも道迷いによる遭難
防止であった。いかに道迷い
に起因する事故が注目されて
いるかが分かる。全国的に見
ても登山技術の講習会で人気
のトップは地形図の読み方、
コンパスの使い方であり、次
がロープワークだそうであ
る。山歩きに際して、読図の
必要性和セルフレスキューに



ツエルト使用の実際

賛助会員入会 ご入金のお礼

次の皆様から、ご入会、ご入金を頂きましたので、ご報告させていただきます。

*6月5日～7月28日現在のご入会、ご入金状況です

- 遠藤家之進正和 (むささび会)
- 伊藤明德 (高田ハイキングクラブ)
- 藤井 信 (長岡ハイキングクラブ)
- 松尾 弘 (矢筈山岳会)
- 後藤邦子 (悠峰山の会)
- 渡邊正之 (長岡ハイキングクラブ)
- 山田智子 (越後山岳会)

(敬称略、順不同)

新潟県山岳協会

会 長・阿部 信一 理事長・遠藤 俊一
総務委員長・宮崎 幸司

おける身の安全確保に対しての関心の深さが分かるデータであろう。これからの遭難対策委員会としても、これらを中心に講習会研修会を開催していく予定です。加盟団体のみならず、お知り合いの方にも声を掛けていただき、安全登山に向けお手伝いが出来ればと思っております。



読図力を高めよう

第60回弥彦山松明登山祭・新潟県登山祭報告

新潟県山岳協会理事長 遠藤 俊一

第60回弥彦山松明登山祭および新潟県登山祭が平成25年7月25日(木)午後5時から弥彦山山頂にて行われた。

この行事は日本3大燈籠まつりの一つである彌彦神社の燈籠神事に新潟県山岳協会が協賛して、昭和29年から実施されているものです。今年も60回目という節目の記念すべき年でもあった。通常なら梅雨明け後の真夏の太陽が照り

つける中での実施となるが、今年は未だ梅雨明け前で、前日からの不安定な空模様心配もあった。しかし、天候は回復基調、午後4時前後には夕立があつたが雨も上がり、午後5時から弥彦山山頂御神廟前で弥彦山頂祭が彌彦神社神官により執り行われ、安全登山が祈願され、続いて参加山岳団体の玉串奉奠がしめやかに

明登山祭に先立ち、午後2時30分より開催された高頭祭に来山された日本山岳協会の神崎会長、八木原副会長からも参加いただいた。

その後午後6時20分、夕日が赤々と日本海を染めるなか、参加者はいまっつ片手に彌彦神社を目指して山頂を出発した。夏の6時過ぎは未だ明るく、暗くなり始めた5合目付近でようやくたいまつに点火した。気がつく

その後午後6時20分、夕日が赤々と日本海を染めるなか、参加者はいまっつ片手に彌彦神社を目指して山頂を出発した。夏の6時過ぎは未だ明るく、暗くなり始めた5合目付近でようやくたいまつに点火した。気がつく



弥彦松明登山にて

つくと次第に登山道は夜の間に覆われ、たいまつのみが暗い木々の間にゆらゆらと輝いている。幽玄の世界を創り出している。登山道の傾斜が緩くなると清水茶屋前、ここでたいまつを取替、登山道入り口で、地元ボーイスカウト鼓笛隊と合流し、弥彦神社本殿前へ行進。ここで、社頭行事を執り行い、永年行事に協力している弥彦山岳会をはじめ各山岳団体に彌彦神社から感謝状が贈呈された。神社での行事終了後、鼓笛隊を先頭に弥彦駅まで燈籠押しで賑わう街中を花火が打ち上がる中、堂々と市巾を行進した。まさに住民と一体となつたお祭りで街中は賑わいで溢れていた。行進は弥彦駅で解散。その後、第60回記念祝賀会が旧体育館跡の「ヤホール」で開かれ、賑やかさはいつまでも続いていた。

歌われている弥彦山松明登山祭讃歌を紹介いたします。

弥彦山松明登山祭讃歌

作詞 花井 馨

- 1 神山弥彦ぞ 越路の象徴
2 百万人 仰ぎて崇し
- 2 神意を慰めむ 岳人集りて 太古のままの 心を捧ぐ
- 3 満山火をもて 輝して進む 岳人三百 意気ぞ高し

ALways Security OK



新潟総合警備保障(株)

〒950-8633 新潟市東区小金町1-17-20

TEL 025-274-1965 FAX 025-271-3445

好天にめぐまれた守門岳の山開き



守門岳山開きにて

林道を保久礼まで行く。保久礼小屋の広場では、地元の守門山岳会を主体としたボランティアの方々が見守りながら、豚汁のサービスをしている。登り始めてまもなく雪の上を歩くようになった。キビタキ小屋付近から不動平への稜線にかけて、ブナ林の新緑と残雪のコントラストが見事であちらこちらで歓声が沸く。真近く見える大岳への積雪量もタップリで同行の会員はスキーを持ってこなかったことを悔やむことしきりだ。登高2時間弱で登りついた頂上は、石造りの巢守神社奥ノ院の広場以外はずかに出ている灌木以外すべて雪の下だ。青雲から袴岳へと連なる稜線の北面も蒼みを帯びた雪壁が豪快に落ちこんでいる。例年の山開きより登山者は少ないと言われるが、抜群の展望と何となく華やいだ春山をたっぷり堪能して無事下山した。

編集委員会 浅野

最近の傾向である大雪は、各地域で行われる山開きにも影響を及ぼしたようだ。守門岳でもその例にもれず、長岡側にある登山口でも大量な降雪で多大な影響を被った。栃堀、入塩川の各登山口へのアプローチの除雪がすすまず、山開きの開催が危ぶまれたが当日、2、3日前に開通した。入塩川口の円隆寺、栃堀口の巢守神社では前夜祭の神事が無事と行われた。当日5/26(日)は幸い早朝からの好天となり、賑やかであろう山開きの雰囲気を楽しめそうだ。車でまだ多くの部分が雪の回廊となっている



キビタキ付近のブナ林

南アルプスマイカーの規制!

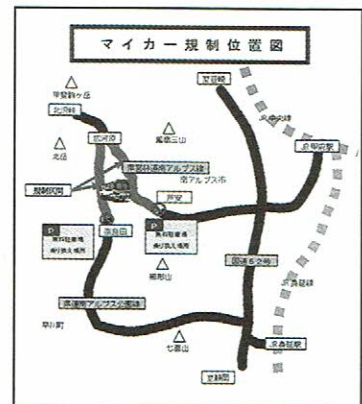
南アルプス北岳などへの登山口である、山梨県南アルプス広河原に通じる県営林道南アルプス線(芦安～広河原間)及び県道南アルプス公園線(奈良田～広河原間)では、南アルプスの貴重な自然環境の保全と通行の安全確保のために、マイカー規制を次のとおり実施している。マイカー利用の方は、芦安(650台)、奈良田(100台)の無料駐車場に駐車し、路線バスまたはタクシーを利用することになる。また南アルプスの豊かな自然環境を維持していくために実施する、このマイカー規制では、利用者の皆様に、マイカー規制実施経費の一部をご負担いただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。(1人片道100円)

○規制機関 平成25年6月25日(火)～平成25年11月9日(土)
(この期間以外は冬期閉鎖のため全面通行止めとなります。)

○問い合わせ先 マイカー規制全般関しては
南アルプス山岳交通適正化協議会事務局(山梨県観光資源課)

TEL055-223-1576

ホームページ <http://www.pref.yamanashi.jp/kankou-sgn/509151611945.html>



第34回北信越国民体育大会を終えて

競技委員長 今井浩二

去る7月27日・28日の2日間、第34回北信越国民体育大会が国際自然環境アウトドア専門学校開催された。ストリート参加の成年男子を除き、県予選を勝ち上がってきた成年女子、少年男女と3つのカテゴリーがしのぎを削った。

国際自然環境アウトドア専門学で北信越大会が実施されるのは、国体の山岳競技がリード競技とボルダリング競技の2種目になった初めての北信越大会の29回以来2回目の実施であった。

この大会の結果によって本国体に出場できるのは、成年女子が1チーム、少年男女が2チームであり、参加選手達はその本国体の出場権を得ることができると目指している。昨年、一昨年と2年連続で3種別全てのカテゴリーで

本国体出場を果たしている新潟県だけに、自県で開催される北信越大会では是非とも全種別で本国体への切符を手に入れなければならないと、選手・指導者一丸となつてトレーニングに励んできた。

1日目(27日)ボルダリング競技

1日目の種目はボルダリング競技であった。国体でのボルダリング競技とは、4つの短い課題を二人で何課題完登できるかを競う競技で、リード競技を中距離走にたとえるならばボルダリングは短距離走にあたり、疲労度に耐える力よりもどれだけ難しい課題を登れるかを競う競技である。従つて極度に難しい課題が設定され、飛びついてホールドを取らなければならなかったり片腕一本でぶら下がったりと、アクロバチック

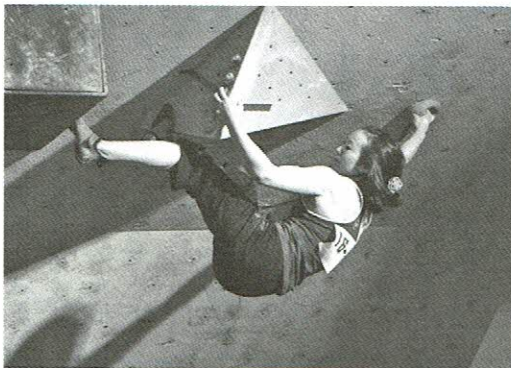
な動きが見られる。二人合戦で完登数の合計が多いチームが勝利を得ることから、絶対的なエースが4課題全て完登し、もう一人が1課題も登ることができなくてもチームとして上位に食い込むことができる。今回は本国体の予選と同じように4課題設定されたので、二人で全課題を完登すれば合計完登は8ということになる。

競技は少年女子、少年男子、成年女子の順で実施された。少年女子は富山、新潟、長野の順で競技を行った。まず富山の2名の選手が2つの課題を6分間で競技を行い、その後次の6分で新潟県が競技を行い、その間前に競

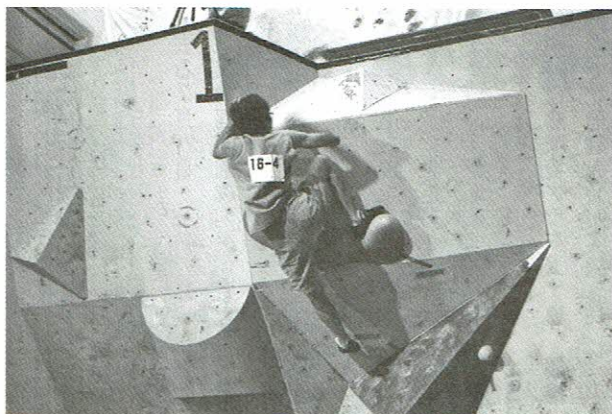
技を行った富山県は休憩を6分間行うというように、「競技↓休憩↓競技」というようにどんどん流れていく方式(通称ところてん方式)で競技が進行されていった。富山県少年女子は二人の完登数の合計が2、続く新潟は6、長野が1ということ、新潟県は圧倒的な差でボルダリング競技を制した。個人順位では新潟の渡辺が4課題完登で1位となった。

続く少年男子は南雲、柿村がそれぞれ2課題づつ完登し、合計4課題を完登した。

最大のライバルと目されていた長野県は合計で3課題の完登となり、長野を押さえて新潟県が1位を獲得した。また、2課題の完登者は南雲、柿村、そして長野県の京屋の3名いたが、ポーチナスポイントの獲得数で南雲が個人順位でも1位であった。



健闘! 1位の成年女子



健闘！ 1位の少年男子

健闘！ 1位の少年男子
 二人の順位を合計してその合計がより少ないチームが上位となる。
 新潟県の少年女子は
 大月、渡辺の両選手が完登し

た。他の県は完登者が一人もでなかったことで、文句なしのリード競技優勝であった。少年男子は完登した長野県の京屋が個人順位1位、続いて30手まで到達した新潟県の南雲が2位、長野の西脇が3位、新潟の柿村が4位で、チーム順位は長野1位、新潟2位であった。
 成年女子は新潟の片桐が粘りのクライミングで完登し個人順位1位を獲得。瀧澤も個人3位に食い込み、ボルダリングに続いてリードでもチーム順位1位となった。

総合成績
 総合成績は以下の表のようになった。少年女子、成年女子はボルダリング、リード共に1位を獲得したため、文句なしの優勝で本国体の出場権を得た。少年男子は新潟県と長野県が優勝を分け合う形となった。少年男子の本国体の出場枠が2県であったため、スーパファイナルを実施せず、両県優勝とした。

大会を終えて・・・
 県予選は毎年の実施で、運営費での制約はあるもののある程度のノウハウは確立されているように思うが、北信越の大会の運営となると、5年に1度の開催であり、運営の難しさを感じた。自分自身、前回の北信越大会は新潟県体を

であった。新潟と1位2位を争ってきた長野県の急な棄権もあり、すこしプレッシャーから解放されたがそれでも1位にならなければならぬという重圧に選手は良く耐えた。結果は新潟が5課題完登、石川が4課題、富山が1課題で成年女子は新潟がボルダリングを制した。しかし、石川のエース福田が予想以上に力を付けてきており、完登数3で同じ完登数3の片桐を

リード競技
 2日目の競技はリード競技であった。進行の関係で少年男子、少年女子が同時スタートで並行して競技を行い、少年男女が終了後成年女子が競技を行った。競技時間は7分間。この7分間でそれぞれの選手が完登を目指す。力及ばず途中で落ちた選手はそれまで到達したホールド（登るための手がかり）の位置で順位を決めていく。

た。他の県は完登者が一人もでなかったことで、文句なしのリード競技優勝であった。少年男子は完登した長野県の京屋が個人順位1位、続いて30手まで到達した新潟県の南雲が2位、長野の西脇が3位、新潟の柿村が4位で、チーム順位は長野1位、新潟2位であった。
 成年女子は新潟の片桐が粘りのクライミングで完登し個人順位1位を獲得。瀧澤も個人3位に食い込み、ボルダリングに続いてリードでもチーム順位1位となった。

フルエントリーは快挙と言っ
 て差し支えないだろう。（新潟県大会のフルエントリーは除くと、3回連続のフルエントリーは快挙と言っ

審判をしていたため、ボルダリングの競技会場内の動きは把握していたものの準備段階のことや競技会場以外のことはわからないことが多く、多くの方に迷惑やご心配をおかけした。今回の大会を終えて感じることは、大会運営だけでなく、準備段階のこともできるだけ詳細に引き継いでいくこと、できれば担当者が変



健闘！ 1位の少年女子



第34回北信越大会参加の選手役員たち

成年女子

最終順位	通過	都道府県名	都道府県番号	種目別順位			
				リード	ボルダー	合計	比較結果
1	○	新潟県	16	1	1	2	1
2		石川県	19	2	2	4	2
3		富山県	18	3	3	6	3

少年男子

最終順位	通過	都道府県名	都道府県番号	種目別順位			
				リード	ボルダー	合計	比較結果
1	○	新潟県	16	2	1	3	1
1	○	長野県	17	1	2	3	1
3		富山県	18	4	3	7	3

少年女子

最終順位	通過	都道府県名	都道府県番号	種目別順位			
				リード	ボルダー	合計	比較結果
1	○	新潟県	16	1	1	2	1
2	○	富山県	18	2	2	4	2
3		長野県	17	3	3	6	3



わつても運営できるだけの詳細な記録・マニュアルを残していく必要があるということだ。そして一部の役員にのみ負担がかかることが無いよう、役割分担を明確にしななければならぬと感じた。(実際に「もう関わられません」と役員を断られた方もいる)最後にりましたが、多く

の皆様のお力で何とか北信越大会を終えることができましたことに感謝いたします。

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス

新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

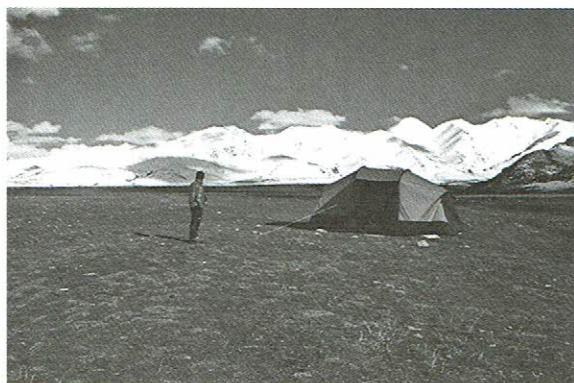
登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー

パーマーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>

新山協ニュースの原稿募集のお願い!

会報・編集委員会



広く原稿を募集いたします。行事・記念誌・会報・などの紹介。会の地域研究・紀行文、山行記録、「チョットそこまでの低山の楽しい文」や詩、地域のアプローチや登山道・動植物・環境問題に関する感想や情報などお寄せ下さい。原稿はメール（ワード横文、原稿用紙で1,500文字程度）郵送で短文でも結構です。添付用イラスト、写真は歓迎いたします。

〒940-0221 長岡市金町2-2-17 浅野亘寛方 (TEL 0258-3998) 会報・編集委員会

Mail: a-unkai@m8.dion.ne.jp

協会加盟団体・役員へのメール配信一覧 6/2~7/20

配信日	内 容	送 信 元	取扱い・委員会
6/4	25年度山岳自然保護の集い要項	日 山 協	県山協事務局
6/11	平成25年度の日山協の役員	日 山 協	県山協事務局
6/11	南アルプスマイカー規制のお知らせ	山 梨 県 観 光 課	県山協事務局
6/21	第52回全国登山大会募集	日 山 協	県山協総務委員会
6/21	平成25年講師養成研修会開催要項	日 山 協	県山協指導技術
6/24	ハイキングリーダー制度概要計画案	日 山 協	県山協事務局
6/25	25年S C講師養成研修会丹沢案内	日 山 協	県山協事務局
6/27	2013ジュニア登山教室	日 山 協	県山協事務局
6/27	平成25年度第1回国民体育大会委員会	県 体 育 協 会	県山協事務局
6/27	山梨県山岳連盟の役員改選	山 梨 県 山 岳 連 盟	県山協事務局
6/28	危険情報の改定	日 山 協	県山協事務局
6/28	スポット情報	日 山 協	県山協事務局
6/28	地図	日 山 協	県山協事務局
6/30	山岳遺産候補地の募集	日 本 山 岳 遺 産 基 金	県山協事務局
7/8	岩手登攀研修会案内	日 山 協	県指導技術
7/20	湯の平小屋周辺崩壊写真(杉原組)	県 山 協	

事務局長・井村健一 (025-259-7152) 競技委員会委員長・今井浩二 (0257-23-0961)

理事長・遠藤俊一 (025-265-4181) 副会長・森 庄一 (0258-72-2710)

海外登山委員長・小林重一 (025-260-1843) ジュニア委員長・稲田春男 (0255-36-3958)

指導技術委員長・嶋原哲也 (025-385-3678) 総務委員長・宮崎幸司 (0256-33-9441)

自然保護委員長・本間一人 (025-385-2225) 遭難対策委員長・井 春分 (0257-52-2437)

※メール内容の問い合わせは取扱委員会、事務局でご確認下さい。